

けやきだより

社会福祉法人みらい



第4けやき 菅谷直幸さん作

今回号の写真

『第4けやきの展示会』

3月25日に第4けやきでは展示会・販売会を行いました。裁縫クラブではクラブ活動内で作ったものを展示・販売することができました。なかには完売した方もいらっしゃり、利用者の皆さんのが嬉しいような表情が印象的でした。工作クラブでは来場者にクラブ内で作ったゲームを紹介し、遊んで頂きました。皆さん、自分が作った作品を堂々と紹介していました。園芸クラブでは、観察日記の展示や育てた花の種を配布しました。利用者の皆さんのが育てた花の種が、来場された方の元でまた新たな芽を出すと嬉しいなと思っています。利用者の皆様とご家族、法人内の職員を含め、約60名の方が来場して下さり、大変にぎやかな会になりました。利用者の皆さんも自分が作ったものを発表したり販売したりする機会があることが何よりも嬉しい様子でした。コロナウイルスの影響で法人外の方との関わりが少なくなっていますが、今後は地域の方に向けて展示会・販売会を実施する機会が出来たらと思っています。

理事長インタビュー

～理事長にインタビューしてみました 第2弾～

社会福祉法人みらい

早瀬 亜紀 理事長



(けやきだより38号よりの続編)

Q：法人ではIT化がどんどん進んでおり、連絡アプリや支援ソフトの導入など積極的に行っていらっしゃいますが、今後導入してみたいと思われるアプリやツール等はありますか？

今まで導入してきたシステムはどちらかというと「職員の業務の効率化」を目的とした改善がほとんどでした。そのため、利用者支援に関して利用者さんが使うものについてのIT化はあまり進んでいないというのが現状ですので、そこはぜひやってみたいですね。

特に子供の療育、また自閉傾向の強い方たちに対しての支援アプリや支援ロボットの導入などITを積極的に使ってより一層支援の質の向上が図れるといいなと思います。

Q2：理事長としてお仕事をされる上で、気にかけていることや注意していることはありますか？

まだまだ至らないですが、職員や利用者の皆さんに声を掛けるようにしています。そっと通りすぎてしまうことは簡単なのですが、でも通り過ぎず、邪魔をしない程度に必ず声をかける…ですかね。

Q3：おすすめのストレス解消法を1つ教えて下さい。

仕事のストレスですか？

Q：主に仕事ですが、リフレッシュ方法という定義をお願いします。職員の皆さんから上手な気分転換について聞きたいというリクエストを頂きましたので是非お伺いしたいです。

そうですね…そういう意味ではあまりストレスがたまらない人間かもしれません。何かをしなければすごくイライラするとか、あるいはすごく落ち込んでしまうとか、そういうことは基本的ないですね。

性格的なものなのかもしれません。もちろん仕事のことを勤務時間以外でも考えたりしますが、考えること＝（イコール）悩んでいることではないので、ストレスや苦痛を感じるということはありません。

社会人になってからもう20年程経ちますが、何かストレス発散をして仕事にオンオフを切り替えるということは基本的に無いですね。

もっとストレスを感じるぐらい働かないといけないかもしれませんね（笑）

インタビュアー＆編集：総務 前田詠美

法トピック

新規利用者紹介

～2022年4月入所の皆様から
ご挨拶を頂きました～

けやきカレッジ 江本喜和さん

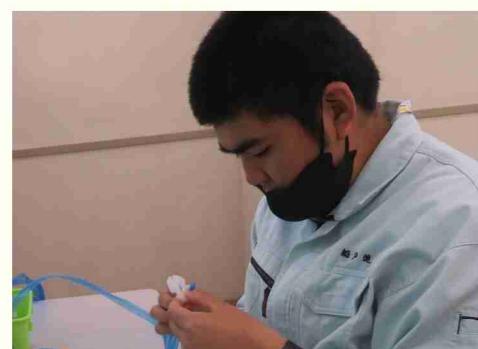
僕がけやきカレッジで頑張つてやりたいことは、作業スピードを速く出来るように手順を覚えて、正確に出来るように取り組んでいくことです。

苦手なことも挑戦出来るように頑張りたいです。



第3けやき 船戸蓮さん

けやきに来て一ヶ月くらいたちました。頑張れているときといない時があります。これからはますます頑張りたいです。それから施設外の仕事も頑張りたいです。



けやきカレッジ 小栗聖矢さん

僕は支援学校を卒業して4月からカレッジに入りました。

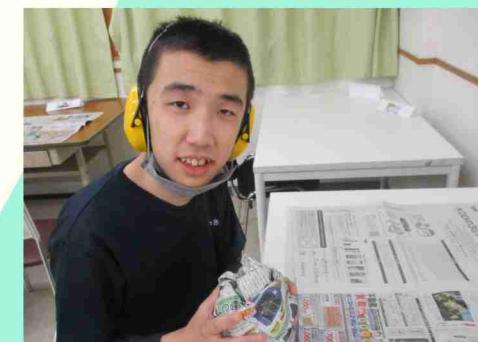
カレッジでは、掃除が好きなので清掃活動と、立ち仕事で体力をつける事と、自分から積極的に話掛けるようにしてコミュニケーションをとる事の3つを一生懸命頑張りたいです。



第2けやき 鈴木絢太さん

僕は4月から第2けやきで働いています。支援学校の時から実習で何回も来っていました。みんなとても優しく教えてくれます。

作業はケブラーを頑張ります。バランスボールも楽しいです。お散歩も大好きです。これからも元気に毎日通います。



けやき可児 浅井崇仁さん

5月から「けやき可児」のお世話になっております。

養護学校卒業後介護の仕事を15年してきました。一番褒められたことはベッドメイキングです。他に掃除やスタッフのお手伝いです。

新しい環境で友達を作りたいと思いました。どうぞ宜しくお願ひします。

ハミング"ことばとからだとこころの教室 を開所しました

この度、専門療育希望者が多数のため、法人3か所目となる児童発達支援と放課後等デイサービスを根本町に開設しました。

ハミングでは、お子さまとご家族を中心に言語聴覚士をはじめ、作業療法士、理学療法士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の資格者を配置し専門職によるチーム支援を行っています。お子さま自身の「やりたい！」「できた！」を積み重ね自ら乗り越える力や自身の基礎作りをサポートしていく事業所です。ハミングを奏でるように、そのお子さまの成長をご家族と一緒に喜び、時には悩みながら事業運営をしていきたいと思っています。



第2けやき・第3けやきが移動しました

5月1日、第2けやきと第3けやきがそれぞれの場所を入れ替える引っ越しをしました。

第2けやきでは、段ボールプレス機を使った仕事が増えました。今まで出張して行っていた食器洗浄の仕事も同じ建物内でできるようになりました。

第3けやきでは、大きな部屋4つを2つずつの作業活動場に分けて2つのグループで活動を行います。それぞれのグループは10名程度の利用者で、ゆとりをもって作業や活動を行うことができるようになりました。Iの字型の構造で利用者の動きも分かりやすくなりました。



写真上：第2けやき 写真下：第3けやき

けやきカフェ市役所店オープンします

6月に可児市役所1階にけやきカフェ市役所店がオープン致します。もともと可児市役所庁舎で営業していた喫茶店が閉店となり、昨年12月に行われた可児市役所のプロポーザルにて、けやき可児が採用されました。現在開店に向けて準備を進めています。開店後は利用者さんの働く場所を増やすとともに、けやき可児の「けやきカフェ」と同じように、地域の皆様や市役所職員の皆様にも愛される店舗づくりに励んでいきたいと思います。



事業所紹介

『けやき』

けやきでは現在、クリーニング作業、調理作業、直販作業、施設外作業の4つの作業を行っています。

クリーニング作業では、受け取った衣類に物が入っていないかの確認作業、衣類の仕分け作業、たたみ作業を行っており、納品に向けて丁寧な作業を心掛けて日々作業に取り組んでいます。

利用者さんから「ズボンのプレスをして、納品先の人からキレイにできてるね。と褒められてとても嬉しかった。」「数える枚数はとても多いけど、間違えず数えることが出来た。」など、難しい工程もありますが、働き甲斐を感じている声が多く聞かれます。



調理作業では、販売用のお弁当を作っています。美味しいお弁当をお客様に食べていただくために、衛生管理の徹底、きれいな盛り付けを意識して作業をしています。

また使用後の調理器具の清掃も作業のひとつとして取り組んでいます。調理器具や食器を乾燥させる保管庫は、とても暑く大変な作業です。しかし厨房に入ると、暑さを跳ね返すような元気な利用者さんがいつも迎えてくれます。



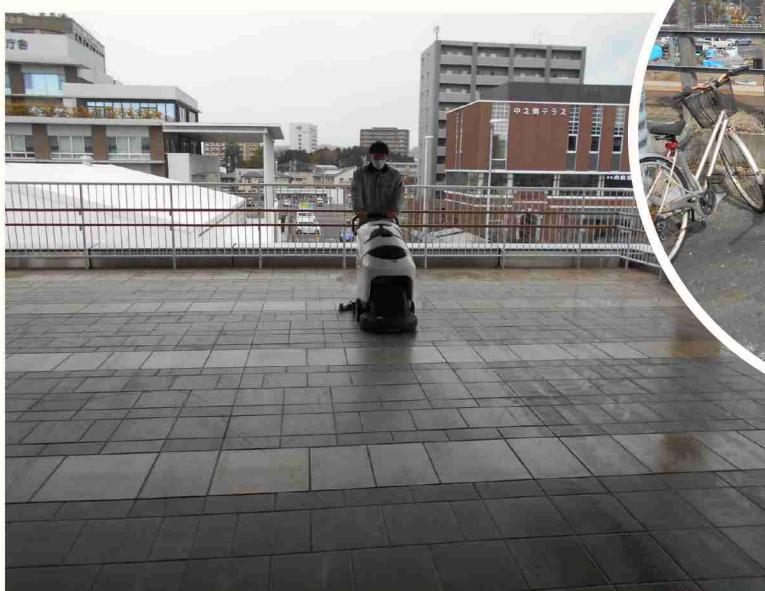
直販作業では、クッキー、パウンドケーキ、ベーグルを作っています。計量や成形など難しい工程もありますが、全て手作業でまごころを込めて作っています。

コロナ禍で機会は減ってしまっていますが、イベントやバザーなどに出店し、販売活動も行っています。

「レシピを見て、最初から最後まで自分でパウンドケーキを作れるようになつた。」と時々仕事の上達ぶりを教えてくれます。



施設外作業では、市内の公園、トイレ清掃や駅のコンコースの清掃、車の洗車を行っています。事業所の外という普段とは違う緊張感の中、地域をきれいにすること、あいさつを始めとしたマナーを身に付けることに取り組んでいます。地域の皆様の「きれいにしてくれてありがとう。」という言葉が励みになります。



いろいろ聞いてみました

職員インタビュー

第3けやき
サービス管理責任者
上田 遥平さん



写真右側が上田氏

Q1:社会福祉職をめざしたきっかけは？

学生時代から漠然と人と関わる仕事をしたいと思っていました。大学時代に障がい者施設の実習をしたことが、障がい者支援の仕事に携わりたいと考えるきっかけとなりました。

Q2:社会福祉法人みらいを志望した理由を教えてください。

就職活動時にいくつか施設見学をしたのですが、社会福祉法人みらいの見学・体験をしたときに、利用者さんも職員もとても明るい事業所だと感じました。

Q3:入職前と入職後で仕事のイメージは変わりましたか？

「難しいけれどやりがいがある仕事」というのは入職前も後もイメージは変わっていません。

Q4:いま担当している業務内容を教えてください。

今は第3けやきでサービス管理責任者として、利用者さんの支援計画を作成する業務を中心に行ってています。

Q5:仕事の魅力、やりがいを教えて下さい。仕事の難しさはどんなところですか？

利用者さんの一挙手一投足がとても魅力的です。なぜその動きをするのだろう？どのような気持ちなのだろう？と利用者さんの目線に立って考えることがやりがいでもあり、難しさでもあります。

Q6:目標や夢を教えて下さい。

今はとにかく目の前にことに一生懸命取り組み、利用者さん一人一人が楽しく安心して過ごせる事業所づくりをしていきたいです。その過程の中で、自分の将来像も明確にしていければと思っています。

ご寄付等頂いた皆様のご紹介

(令和4年5月現在、順不同)

ボランティアをして頂いた方

笠瀬 美里 様
林 冬美 様



コープぎふ福祉助成基金様から グラビティチェア購入の助成を受けました

「コープぎふ福祉助成基金」様よりグラビティチェアという特殊なクッションチェア2台とグラビティチェア用の専用机1台の購入の助成を頂きました。

この基金はコープぎふ様が独自に行っていらっしゃる基金となり、応募者多数のプレゼン審査へ初めて参加させて頂きました。法人みらいを助成対象にお選び頂きありがとうございます。購入したグラビティチェアと机は、ほっとスマイルという事業所で大切に使用させて頂いております。右下の写真はほっとスマイルの利用者が書いて下さったお礼のお手紙です。

助成を頂きました、「コープぎふ福祉助成基金」様には深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



編集後記

春の陽気からだんだんと暑さが増して参りましたこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。法人では定期健康診断や防災訓練などが行われ、賑やかな5月を過ごしました。そして「ハミング ことばとこころとからだの教室」という新しい事業所も増え、ますます賑やかな法人みらいを今後とも宜しくお願い致します。

社会福祉法人みらい
けやきだより第39号

発行日 2022年5月
発行者 社会福祉法人みらい事務局
〒507-0827
岐阜県多治見市平和町6-364
TEL 0572(22)1011



法人ホームページはこちらから